日刊 動労千葉

85. 3. 18

No. 1891

国鉄千葉動力車労働組合
千葉市要町二一一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五～六・（公衆）〇四七二(22)七二〇七

国鉄「分割・民営化」阻止！三里塚二期着工粉砕！

仁杉総裁、自宅にトンネル会社
3000万円の国鉄受注で私腹を肥やす

こんな奴に、「15万首切り」「分割・民営化」などやる資格があるのか！

3月6日の衆院予算委員会において、国鉄の仁杉総裁が家族に「イワオ工業」なる国鉄工事の受注会社を経営させている事実が暴露された。「赤字国鉄の再建」を理由に、あらゆる犠牲を国鉄労働者に押しつける一方で、自らは「地位」を利用し、国鉄を喰いものにしている仁杉総裁を弾劾し、その責任を追及するものである。

国鉄工事受注専門会社で年間70億円・・・・・・

3月6日の衆院予算委員会で暴露された事実はこうである。

○ 問題の会社は「イワオ工業」といい、社長が仁杉総裁の娘の夫の他、役員に仁杉総裁の妻と娘が名を連ねている。

○ この会社の所在地は、仁杉総裁の自宅の一角にある。

○ 「イワオ工業」は、「ユニオン土木」という国鉄指定業者の下請けであり「ユニオン土木」は仁杉総裁がかつて社長であった西武建設が全株を所有し、仁杉総裁はオーナー的存在である。

○ 「ユニオン土木」の'83年度の仕事・90億円中、68億円が国鉄の発注であり、しかも役員12人中7人が国鉄OBである。

労働者に犠牲を強い私服を肥やす仁杉総裁

以上のことから仁杉総裁と「イワオ工業」「ユニオン土木」が密接な関係にあり、国鉄から多額の発注を受け、莫大な利益をあげていたことが明らかとなった。しかも、「イワオ工業」は昨年12月に相模線の駅前舗装を請け負っているが、社員が4人しかいない会社で、国鉄の土木建築を請け負える能力もなく、金もうけのためのトンネル会社であることも暴露されたのである。

ましてや、日鉄法第20条の役員の制限の項では「国鉄とかかわりのある会社に大きな影響力のある人は国鉄の役員にはなれない」と定めており、総裁自ら法律に違反して平然としているのだ。

仁杉総裁は「赤字の国鉄を再建する」と称し、1月10日「分割・民営化」を基本に「65年度までに十八万八千人体制の実現」を骨子とする言語道断の提案を行った。現在、3人に1人の首切りにむけて「三本柱」や「60・3」をはじめとする労働強化、人減らし、権利剥奪、賃金抑制等々、すべての犠牲を労働者に転嫁する問答無用のすさまじい攻撃を加えてきている。

「上野駅事件」のように、「三百円」で国鉄労働者の首を切る一方で、自らの「地位」を利用し国鉄から甘い汁を吸い、私服を肥やす仁杉総裁を断じて許すことはできない。

「分割・民営化」に群がる利権屋集団もろとも怒りの反撃で一掃し「過員」攻撃粉砕、国鉄労働運動破壊攻撃を打ち破ろうではないか。

3・24総決起で、二期阻止・「過員」攻撃くだこう！ 24日(日)10じ、成田運転区集合

サークル協総会開かる

3月15日、第7回動労千葉サークル協議会総会が開催されました。

各連盟会長、各代議員が勢ぞろいし、今日ますます激化している国鉄労働運動解体攻撃、すなわち15万人にもおよぶ要員大合理化の突破口である「60・3ダイ改」攻撃との厳しい闘いの中で、この一年間サークル活動を活発に取り組み、組織強化をかちとってきた成果を確認するとともに、今後職場に根ざした全組合員参加のサークル活動をさらに活発化させ、組合員・家族会の団結強化と組織的発展を目指して積極的に活動することを決定し、成功裡に終了しました。

当面する具体的取り組みとして

第一に、3・24三里塚現地闘争に全力をあげて決起できる組織体制の確立に向け取り組むこと。

第二に、動労千葉サークル協・各連盟の自主的活動をさらに強化し、対外交流の発展にも積極的に取り組む。

第三に、家族会も気軽に参加できる行事を多くとり入れ、組合員・家族がサークル活動を通じてさらに親睦と団結を深める。

との方針を決定しました。

なお、各連盟会長と会計監査委員が次のとおり選出されました。

囲碁・将棋連盟会長・篠塚　寧・幕　張
スポーツ〃　〃・大岩定雄・新小岩
美　術〃　〃・内藤　潔・　〃
園　芸〃　〃・塩崎昭広・館　山
娯　楽〃　〃・椿　勇・津田沼
会計監査委員・高橋富味雄（千葉転）
外山義章（木更津）

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉砕せよ！